

経済学委員会経済学分野の参照基準検討分科会（第22期第1回）  
（2013年2月4日）  
日本学術会議6階 6—C会議室

アメリカでの経済学教育について：米国経済教育協議会（Council  
for Economic Education：CEE）の活動を中心として

山岡道男（早稲田大学大学院アジア太平洋研究科）

配布資料：

- (1) 『経済リテラシーを高めるためのやさしい経済学入門』  
早稲田大学アジア太平洋研究センター経済教育研究部会、2007年3月
- (2) 「経済学入門テスト：ミクロ経済学30問：第7回生活経済テスト」
- (3) 「経済学入門テスト：マクロ経済学30問：第7回生活経済テスト」
- (4) 「高等学校公民科教員の研究：経済教育の視点から（1）」『山村学園短期大学紀要』  
第23号、2012年3月
- (5) *Comparative Studies on Economic Education in Asia-Pacific Region*（諸外国の  
経済教育：大学編）、春風社、2010年2月

## (1) 10 回の生活経済テスト

- (1) 経済教育研究協会 (1988 年 1 月～1996 年 3 月)  
 (第 1 回経済理解力テスト：1988 年)  
 (第 2 回経済理解力テスト：1991 年)
- (2) 早稲田大学教育総合研究所・経済教育に関する教材研究部会 (1991 年 4 月～2000 年 3 月)  
 ★ (第 1 回経済学理解力テスト：1991 年)  
 ★ (第 2 回経済学理解力テスト：1993 年)
- (3) 財団法人消費者教育支援センター (1996 年 4 月～2000 年 3 月)  
 (第 1 回生活経済テスト：1996 年)  
 (第 2 回生活経済テスト：1998 年)  
 (第 3 回生活経済テスト [金融キソテスト]：2000 年)
- (4) 早稲田大学経済教育総合研究所 (2000 年 12 月～2005 年 11 月)  
 (第 4 回生活経済テスト [経済リテラシー・テスト：フォーム A]：2001 年)  
 (第 5 回生活経済テスト [経済リテラシー・テスト：フォーム B]：2002 年)  
 (第 6 回生活経済テスト [パーソナル・ファイナンス基礎テスト]：2004 年)
- (5) 早稲田大学アジア太平洋研究センター経済教育研究部会 (2006 年 4 月～2012 年 3 月)  
 ★ (第 7 回生活経済テスト [経済学入門テスト：マイクロ問題、マクロ問題]：2006 年)  
 (第 8 回生活経済テスト [パーソナル・ファイナンス初級テスト]：2007 年)  
 (第 9 回生活経済テスト [パーソナル・ファイナンス入門テスト]：2009 年)  
 (第 10 回生活経済テスト [「経済についての見方や考え方」基礎テスト]：2010 年)
- (6) 早稲田大学教育総合研究所パーソナル・ファイナンス研究部会 (2010 年 4 月～  
 2013 年 3 月)  
 (第 6 回生活経済テスト [パーソナル・ファイナンス基礎テスト]：2010 年～)  
 (第 8 回生活経済テスト [パーソナル・ファイナンス初級テスト]：2010 年～)  
 (第 9 回生活経済テスト [パーソナル・ファイナンス入門テスト]：2010 年～)  
 (第 10 回生活経済テスト [「経済についての見方や考え方」基礎テスト]：2010 年～)

## (2) CEE の活動と TUCE (TEL, TEK) について

スタンダードの作成

アメリカでの AP 経済学

## (3) 諸外国の状況

ドイツ：入学と卒業はどこの大学でも良い (大学の移動が自由)

ニュージーランド：他大学の教員による審査 (シラバス・テスト問題・評価内容)

## (4) 質保証のための検討項目 (教授内容の確定、評価方法の決定、マルクス経済学との関連)

## 解説用メモ書き (山岡)

## ★用語解説

TUCE 4 : *Test of Understanding of College Economics Examiner's Manual*, 2007

William B. Walstad, Michael W. Watts, Ken Rebeck,

TEL 3 : *Test of Economic Literacy Examiner's Manual*, 11-12, 2001

William B. Walstad, Ken Rebeck

TEK 2 : *Test of Economic Knowledge Examiner's Manual* 7-9, 2007

William B. Walstad, Ken Rebeck, Roger Butters

BET : *Basic Economics Test Examiner's Manual* 5-6

John F. Chizmar, Ronald S. Halinski

AP : Advanced Placement Economics 9-12

## ★スタンダード関係

*Voluntary National Standard in Economics: 2<sup>nd</sup> Edition*

Council for Economic Education, 2010

1.Scarcity, 2.Decision Making, 3.Allocation, 4..Incentives, 5.Trade,  
6.Specialization, 7.Markets and Prices, 8.Role of Price, 9.Competition and  
Market Structure, 10.Institutions, 11.Money and Inflation, 12.Interest Rates,  
13.Income, 14.Entrepreneurship, 15.Economic Growth, 16.Role of Government  
and Market Failure, 17.Government Failure, 18.Economic Fluctuations,  
19.Unemployment and Inflation, 20.Fiscal and Monetary Policy

『経済学習のスタンダード 20 : 21 世紀のアメリカ経済教育』消費者教育支援  
センター、2000 年 3 月 (1997 年初版の翻訳)

## ★TUCE 関係論文

“The U.S. Test of Understanding in College Economics; Revision and Results”  
William B. Walstad, Michael W. Watts and Ken Rebeck, *Comparative Studies  
on Economic Education in Asia-Pacific Region : 諸外国の経済教育 (大学編)* ,  
春風社、2010 年、pp.3-29.

「経済リテラシーに関する日米大学生の国際比較 : 第 7 回生活経済テストの中間  
報告」『アジア太平洋討究』第 9 号、2007 年 3 月、59-85 頁

★FFFL : *Financial Fitness for Life Test Examiner's Manuals 3-5, 6-8, 9-12*  
「ジャンプ・スタート連合」 (Jump\$tart Coalition for Personal Financial Literacy)

FFFL 関係の教科書

- (1) Financial Fitness for Life: Teacher Guide (教師用指導書 : 4冊)  
Grade K-2, Grade 3-5, Grade 6-8, Grade 9-12
- (2) Financial Fitness for Life: Student Workbook (生徒用教科書 : 4冊)  
Grade K-2 (Student Storybook), Grade 3-5, Grade 6-8, Grade 9-12
- (3) Financial Fitness for Life: Parent Guide (家庭用教材 : 2冊)  
Grade K-5, Grade 6-12 (<http://www.councilforeconed.org/>)

第6回高校生版テスト

Walstad William B., Rebeck, Ken, *Financial Fitness for Life: High School Test Examiner's Manual, Grades 9-12*, National Council on Economic Education (NCEE), 2005

第8回中学生版テスト

Walstad William B., Rebeck, Ken, *Financial Fitness for Life: Middle School Test Examiner's Manual, Grades 6-8*, National Council on Economic Education (NCEE), 2005

第9回小学生版テスト

Walstad William B., Rebeck, Ken, *Financial Fitness for Life: Upper Elementary Test Examiner's Manual, Grades 3-5*, National Council on Economic Education (NCEE), 2005

カテゴリー分類

- (1) 「経済についての考え方」: 経済的な見方考え方、
- (2) 「所得の稼得」: 所得を得る、
- (3) 「貯蓄と金融商品」: その所得の使途 (支出、貯蓄、投資、保険など) について意思決定する、
- (4) 「支出とクレジット」: 何に支出するかを決定し、クレジットを含む支払い方法について学ぶ、
- (5) 「家計の金銭管理と保険」: 貯蓄と投資のいろいろな選択肢 (金融商品) について学ぶ

## 解説用資料 経済教育のあゆみ(2013年02月版)

### 1. 研究組織の変遷

- (1)経済教育研究協会（1983年参加：1986年4月～1999年3月）
- (2)早稲田大学教育総合研究所・経済教育に関する教材研究部会（1991年4月～2000年3月）
- (3)財団法人消費者教育支援センター（1996年4月～2000年3月）
- (4)早稲田大学経済教育総合研究所（2000年12月～2005年11月）
- (5)早稲田大学アジア太平洋研究センター経済教育研究部会（2006年4月～2012年3月）
- (6)早稲田大学教育総合研究所パーソナル・ファイナンス研究部会（2010年4月～2013年3月）

### 2. 経済理解力テストの実施

別紙参照

- ☆『経済リテラシー入門：経済のどこがむずかしいのか』、早稲田大学経済教育総合研究所、2001年3月：第1回から第3回までの生活経済テストの解説と結果分析
- ☆『消費者・市民のための生活経済入門：経済リテラシー・ワークブック』、早稲田大学経済教育総合研究所・(財)消費者教育支援センター、2002年1月：第4回・第5回生活経済テストの問題解説
- ☆『21世紀における経済教育政策の日米比較：経済リテラシー・テストの分析結果から』、早稲田大学経済教育総合研究所、2002年3月：国際交流基金日米センター用報告書
- ☆『消費者・経済教育の考え方進め方』、早稲田大学経済教育総合研究所、2002年3月：第1回国際シンポジウム報告書（2001年8月1日～2日）
- ☆『消費者経済教育の新潮流：自立のためのパーソナル・ファイナンス教育』、早稲田大学経済教育総合研究所、2003年12月：第2回国際シンポジウム報告書（2002年8月6日～7日）
- ☆『日本における経済教育のあゆみ（第1分冊）：経済教育研究協会と早稲田大学教育総合研究所での活動を中心として』、経済教育研究会、2006年3月
- ☆『日本における経済教育のあゆみ（第2分冊）：経済教育研究協会での活動』、経済教育研究会、2006年9月
- ☆『消費者・市民のためのパーソナル・ファイナンス入門』、早稲田大学経済教育総合研究所、2006年3月：第6回生活経済テストの問題解説
- ★『経済リテラシーを高めるためのやさしい経済学入門』、早稲田大学アジア太平洋研究センター経済教育研究部会、2007年3月：第7回生活経済テストの問題解説
- ☆『経済リテラシー入門 第2集：経済のどこがむずかしいのか』、早稲田大学経済教育総合研究所、2007年3月：第4回から第6回までの生活経済テストの問題解説と結果分析
- ☆ *Economics Education in Asia-Pacific Region: China, Japan, Korea, New Zealand, the Philippines, and U.S.A.*、早稲田大学経済教育総合研究所、2007年3月：第5回生活経済テストに関する国際会議（2004年8月開催）の議事録
- ★ *Comparative Studies on Economic Education in Asia-Pacific Region*：諸外国の経済教育（大学編）、春風社、2010年3月：第7回生活経済テストに関する国際会議（2009年8月）

開催)の議事録

- ☆ 『現代経済リテラシー：標準テストによる学習成果の測定、生活経済テスト問題集（第1回～第10回）』、早稲田大学アジア太平洋研究センター経済教育研究部会、2012年2月：  
第1回から第10回までの生活経済テスト問題集
- ☆ 『現代パーソナル・ファイナンス教育論入門』早稲田大学アジア太平洋研究センター経済教育研究部会、2012年12月：第9回生活経済テストの解説

### 3. 諸外国の経済教育について

- (1)アメリカの経済学教育（CEE：経済教育協議会 Council for Economic Education、2008年  
末まで全米経済教育協議会 NCEE：National Council on Economic Education、1992年  
末まで、経済教育合同協議会 JCEE：Joint Council on Economic Education）

年次総会：1993年（ミルウォーキー）

1994年（ウイリアムズバーグ）、1995年（欠）

1996年（ホノルル）

1997年（インディアナポリス）

1998年（ワシントン.D.C.）

1999年（ボイジー）

2000年（サバナ）

2001年（シカゴ）

2002年（サンディエゴ）

2003年（ニューオリンズ）

2004年（リトルロック：国際賞）

2005年（サンアントニオ）

2006年（ニューヨーク）

2007年（デンバー）

2008年（パイロキシ）

2009年（ワシントンD.C.）

2010年（マイアミ）

2011年（シカゴ）、2012年（カンサスシティ：欠）

2013年（ボルチモア：予定）

夏季セミナー（インディアナ＝パデュー大学、インディアナポリス）

第1回目：1987年7月、第2回目：1993年7月

英米経済教育国際会議（英国、リバプール）1995年4月

経済教育に関する国際シンポジウム（サンフランシスコ）2009年1月

- (2)韓国の経済学教育（韓国開発研究院経済情報センター、韓国経済学教育学会：1994年発足）

1995年3月27日：韓日経済教育セミナー（ソウル商工会議所、ソウル）

1999年10月30日：韓日経済教育セミナー（淑明女子大学、ソウル）

2003年11月14日～15日：「市場機構と経済教育の役割に関する第1回国際  
会議」（漢陽大学、ソウル）

- 2004年3月27日：韓日経済教育セミナー（漢陽大学、ソウル）  
 2008年8月26日：東西大学日本研究センター月例研究会（東西大学、釜山）  
 2008年8月28日：韓国経済学教育学会夏季会議（慶尚大学、晋州）

(3) 中国の経済学教育

- 2000年8月28日：中日経済教育セミナー（北京城市大学、北京師範大学、北京）  
 2010年11月26日：経済教育の国際比較（北京城市大学、北京）

(4) オーストラリアの経済学教育（Victorian Commercial Teachers Association）

- 在外研究（1996年4月～1997年3月）オーストラリア国立大学日豪研究センター  
 （キャンベラ）  
 1996年7月22日：オーストラリア国立大学・豪日研究センター（キャンベラ）  
 2002年11月：ビクトリア商業教育者協議会年次総会（ラトロブ大学：  
 メルボルン）  
 2004年7月14日：「経済教育に関する国際会議」（南オーストラリア大学、  
 アデレード）

(5) ニュージーランドの経済学教育（NZ Commerce and Economics Teachers Association）

- 2002年6月：NZ 商業・経済教育者協議会年次総会（クライストチャーチ）  
 在外研究（2002年10月～2003年9月）オークランド大学ニュージーランド・  
 アジア研究所（オークランド）  
 2003年3月26日：第1回目の日本の経済教育に関するセミナー、オークランド  
 大学ニュージーランド・アジア研究所（オークランド）  
 2003年8月26日：第2回目の日本の経済教育に関するセミナー、オークランド  
 大学ニュージーランド・アジア研究所（オークランド）  
 2007年8月31日：経済学リテラシーの国際比較：日本とニュージーランド、  
 オークランド大学ニュージーランド・アジア研究所（オークランド）  
 2008年3月17日：日本の経済教育に関するセミナー、オークランド大学  
 ニュージーランド・アジア研究所（オークランド）  
 2012年12月4日：「パーソナル・ファイナンス・リテラシーの国際比較：  
 ニュージーランドと日本」、ニュージーランドと日本に関する国際会議、  
 オークランド大学ニュージーランド・アジア研究所（オークランド）

(6) エストニアでの学会

- 2007年5月29日：国際公民社会経済教育学会国際会議、（タルト大学、タルト）

(7) 台湾でのシンポジウム

- 2010年5月4日：経済教育と高齢化経済における人的資本に関するシンポ、  
 （国立成功大学、台南）

#### 4. 国際シンポジウム・セミナーの開催

- (1) 2000年8月4日：「消費者・経済教育国際セミナー2000」（共催：財団法人消費者教育  
 支援センター）

ロバート・ハリス（インディアナ＝パデュー大学インディアナポリス校教授、同大学経

- 済教育センター所長)、グウェン・ライシュバック (東ミシガン大学アメリカ消費者教育センター所長)
- (2)2001年8月1日～2日:「消費者・経済教育国際セミナー2001」(共催:消費者教育支援センター、経済学教育学会)  
ウィリアム・ウォルスタッド (ネブラスカ大学リンカーン校教授、アメリカ経済教育研究センター所長)、タミー・フィッシャー (ネブラスカ大学経済教育センター所長)、カート・アンダーソン (ミネソタ大学教授、同大学経済教育センター所長)、リチャード・マクドナルド (セント=クラウド州立大学准教授、同大学経済教育センター所長)
- (3)2002年8月6日～7日:「消費者経済教育の新潮流」  
ジョン・クロウ (ニューヨーク州立大学ネオオンタ校教授、経済教育レザーストッキング・センター所長)、メアリー・スーター (ミズーリ大学セントルイス校起業家・経済教育センター副所長)
- (4)2003年2月8日:「経済リテラシー・テストの米国でのテスト結果」  
ケン・レベック (セント=クラウド州立大学准教授、同大学経済教育センター副所長)
- (5)2004年3月20日:「アメリカの経済教育とパーソナル・ファイナンス教育」  
リチャード・マクドナルド (セント=クラウド州立大学准教授、同大学経済教育センター所長)
- (6)2004年8月1日～2日:「アジア太平洋地域の経済リテラシーの国際比較」  
ケン・レベック (セント=クラウド州立大学准教授、同大学経済教育センター副所長)、モハメッド・カビアーニ (インディアナ=パディュー大学経済教育研究センター副所長)、李成杓 (韓国 KDI 経済情報センター主任研究員)、兪正鎬 (韓国 KDI 経済情報センター所長)、尹秀艶 (北京城市大学助教授)、ジェフ・エバンズ (国際学院経済学主任)、スティーブン・リム (ワイカト大学教授)、マリア・ルース・カルロス (龍谷大学助教授)
- (7)2005年2月5日:「パーソナル・ファイナンスに関する学生の理解度調査:テスト問題の作成と米国でのテスト結果」  
ウィリアム・ウォルスタッド (ネブラスカ大学リンカーン校教授、アメリカ経済教育研究センター所長)
- (8)2006年3月10日:「NCEE 新著『グローバリゼーション』の解説と経済教育の長期的効果」  
ウィリアム・ボースハート (フロリダ・アトランティック大学准教授、同大学経済教育センター所長)
- (9)2008年2月16日:「アメリカ経済教育の現状と実践、課題」  
ゲイル・タマリブチ (ハワイ大学中等教育教員養成プログラム主任)、リチャード・ランキン (イオロニ高校教諭)、クリスティン・キャスタグナーロ (全米経済教育協議会ハワイ州カウンスル専務理事)
- (10)2009年6月6日:「パーソナル・ファイナンス教育と経済教育が、アメリカの高校生高の知識と態度に与える効果」

ケン・レベック (セント=クラウド州立大学准教授、同大学経済教育センター所長)

(11) 2009年8月17日～18日：「アジア太平洋地域の経済リテラシーの国際比較」

スティーブン・リム (ワイカト大学商学部教授)、ポール・ダリジール (リンカーン大学商学部教授)、ウィリアム・ウォルスタッド (ネブラスカ大学リンカーン校教授)、マイケル・ワッツ (インディアナ大学教授)、范光中 (国立成功大学経済学部准教授)、金敬模 (国立慶尚大学社会科教育学部教授)、張景皓 (仁荷大学社会科教育学部准教授)、キャサリン・ファーガン (グラスゴー大学教育学部専任講師)、ジョセ・カマチョ (フィリピン大学ロスバニョス校経済学部准教授)、アメリア・ベロ (フィリピン大学ロスバニョス校経済学部准教授)

(12) 2011年3月12日：「中国とアメリカの経済教育」

尹秀艶 (北京城市学院経済管理学部教授・学部長)、カルロス・J・アサルタ (ネブラスカ大学リンカーン校経済学部助教授、アメリカ経済教育センター主任研究員)

早稲田大学大学院アジア太平洋研究科 教授

早稲田大学国際学術院 教授

早稲田大学経済教育総合研究所 元所長

早稲田大学アジア太平洋研究センター経済教育研究部会 元主任

早稲田大学教育総合研究所パーソナル・ファイナンス研究部会 主任

山岡 道男

E-mail:yamaoka@y.waseda.jp